

学生サポート

先生と学生はもちろん、職員と学生との距離も近いのが本学の特色。
勉強や研究のこと、学生生活の悩み、就職活動の不安など、みなさんの声に真剣に耳を傾けます。

【チューター制度】

学生ごとに担当の教員を割り当てるチューター制度は、教員が学生一人ひとりの学修目標に応じた履修指導などを行っています。履修・学生生活などで分からないことは気軽に相談してください。



【オフィスアワー】

学生が自由に教員研究室を訪ね、質問や相談ができます。専任教員は、週2回各90分のオフィスアワーを設けており、全教員への訪問が可能です。講義を受けていない学生も質問があれば訪ねることができます。

学生生活・学外学修交通システム

学生証を提示するだけで、通学や学外学修に便利な路線バス（鳥取駅一環大学前間等）に乗車できます。本学では、農山村地域や中心市街地などで行われる実践的な教育活動を重視しており、その移動手段として公共交通である路線バスも活用しています。また、土・日・祝祭日や夏期・冬期休業期間も、日本交通が運行している鳥取県東部地区の全路線に無料で乗車できるため、観光地や中心市街地へも気軽に出かけることができます。

健康管理(保健室)

講義中に気分が悪くなったり、課外活動中にケガをした場合にもすぐに適切な処置が受けられるよう、看護師が常駐しています。

- ケガや病気の応急処置
- 健康相談
- 医療機関の紹介(本学指定または本学周辺の医療機関)

こころの相談(メンタルサポートルーム)

大学生活全般への不安、対人関係の悩みなどを、臨床心理士(常駐)とともに考えていく個別カウンセリングを受けることができます。また、学校医(メンタルヘルス)が月1回相談に応じます。

アルバイトの紹介

企業から依頼を受け、本学が学生にふさわしいと判断したアルバイトを紹介しています。また本学での講義サポートや聴覚障がい者への要約筆記、講義ビデオ撮影など、学内での作業やサポートのアルバイトを随時募集しています。

学費サポート

「学びたい!」というみなさんの思いを経済的な面で支える制度。授業料減免制度では、申請資格があり学力基準を満たす方全員を採用します。入学料免除制度では、本学入試に合格し、申請基準を満たす方全員を採用します。

授業料減免制度

減 免 額	1年間の授業料の 半額免除 (年間267,900円免除)	1年間の授業料の 全額免除 (年間535,800円免除)
申 請 資 格	同一生計の世帯全員が 住民税非課税 であること。	
学 力 基 準	前年度の成績が、2年次生は32単位以上、3年次生は64単位以上、4年次生は3年次までの必修科目を修得し96単位以上修得していること。1年次生は前期に16単位以上修得していること。	左記の基準を満たした2年次生以上で、前年度の成績が素点平均85点以上、または素点平均が所属する学科の上位20%以内であること。(1年次生は対象になりません)
採 用 数	申請資格があり、学力基準を満たす申請者全員を採用する。	
減 免 期 間	1年ごとに申請を受け付け、その年度について減免を許可。減免は複数回受けることができるが、適用期間は修業年限(4年)内とする。	
授 業 料 の 取 扱 い	4月末までに前期分を全額納付すること。 減免対象に決定した場合、後期分の納付は不要とする。	4月末までに前期分を全額納入すること。 減免対象に決定した場合、11月以降に前期分を返金する。
そ の 他	生活保護世帯の場合、学力基準にかかわらず全額免除 学費負担者の死亡、風水害等、入学後の特別な事由による家計急変で、授業料の納付が困難になった場合は、随時申請を受け付け、減免となる場合があります。	

入学料免除制度

免 除 額	入学料の 免除 (282,000円又は188,000円)
申 請 基 準	次のいずれかに該当する特別な事情により、入学料の納入が著しく困難な場合は、入学料を免除することができる。 (1)入学年度の前年度において、学費負担者が死亡した場合 (2)本人若しくは学費負担者の居住する自宅家屋が地震、風水害等により全・半壊又は流出した場合及びこれに準ずる相当の事由があると認められる場合 ※入学年度の前年度及び前々年度に発生した案件で、災害は指定せず、現に災害に遭い、市町村から罹災証明書が発行され、規定要件を満たす場合は全て対象とする。 (3)その他入学料の納入が特に困難であると理事長が認めた場合 ※経済的事情(世帯所得の多寡)によるものではありません。
採 用 数	基準を満たす申請者全員を採用する。

奨学金

本学では
日本学生支援機構奨学金(貸与)を
取り扱っています。

学納金 環境学部環境学科 / 経営学部経営学科

入 学 料	授 業 料	初年度納付金合計
282,000円(県内者:188,000円)	535,800円	817,800円(県内者:723,800円)

- ※「県内者」は以下のいずれかに該当する方
●入学前年の4月1日から引き続き鳥取県内に住所を有している方
●入学前年の4月1日から配偶者または1親等の親族が引き続き鳥取県内に住所を有している方

入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険、学生教育研究賠償責任保険、学生生活・学外学修交通システム負担金等の諸経費として約25,000円程度が必要となります。

2年次以降納付金合計
535,800円

ココにも 注目!

TUES-NET

【公立鳥取環境大学 ネットワークシステム】

学内外の学術・研究に関わる情報を入手できる「TUES-NET」を整備しています。学内2,500カ所にある情報コンセントや無線LANにより、24時間いつでも学内LANやインターネットに接続できます。

全学サーバシステム

【WEBサービス】

教育・研究情報などWEBを通して様々な情報発信を行っています。また、WEB上で履修登録、時間割照会、シラバス照会、成績照会などができます。

【電子メール】

入学時に全学生にEメールアカウントを提供しています。レポートの提出や教員への質問、友人同士の連絡や情報交換を、メールで行うことができます。



全学サーバシステム

【パソコン購入】

入学時に大学が指定するノートパソコンを購入します。最新式のノートパソコンに4年間の保証(故障修理と動産保険)と講義で必要なソフトウェアがセットされます。
※2019年度パソコン購入代実績 134,500円

【ヘルプデスク】

学生のパソコンの相談窓口として、情報メディアセンターにヘルプデスクを開設しています。故障した場合の修理受付や質問への対応、代替パソコンの貸出など各種支援を行っています。



【教育用ソフトウェア】

大学がライセンス契約することで、教育・研究に必要なソフトウェアを無償で貸与しています。最新版へのバージョンアップも無料で行えます。